

研究課題「Causes and treatment strategies for cardiac tamponade by catheter ablation requiring thoracotomy: Risks of catheter ablation in patients with left atrial diverticulum(開心術を必要とするカテーテルアブレーションによる心タンポナーデの原因と治療戦略: 左心房憩室患者におけるカテーテルアブレーションのリスク)」

1. 研究の対象

2011年11月3日から2022年3月31日までに高知大学でカテーテルアブレーションを実施した18歳以上の成人症例で外科的介入をした症例です。

2. 研究目的・方法

一般社団法人 National Clinical Database (以下、NCD) は、日本における手術患者の術前、術中、術後情報を入力することで、日本での臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質向上に資する分析を行うものです。当科で施行された全ての手術も National Database に登録しております。

カテーテルアブレーションにより合併症(心タンポナーデ)で、外科介入を必要とした症例の多くが、左房憩室が原因である可能性があります。カテーテルアブレーションにより外科介入を必要とした症例の出血点を明らかにし、カテーテルアブレーションの合併症(心タンポナーデ)リスクと、左房憩室の関係性を明らかにします。特定された症例の左房憩室の有無、出血部位、そして手術戦略を後ろ向きに記載し、カテーテルアブレーションの合併症(心タンポナーデ)リスクと、その際の手術戦略の妥当性を検討致します。低侵襲、かつ治療効果の高いものを、手術戦略の妥当性が高いと判断致します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

登録される情報は以下のように分けられます。

NCDに登録している以下の情報と、診療において撮影したCT画像を使用します。

① すべての手術・治療について登録する基本項目(13項目前後、統計的調査)

生年月日、性別、手術回数、手術日、身長、体重、既往歴(高血圧、脂質異常症、糖尿病)、腎機能、呼吸機能、合併症などです。

②手術・治療ごとに異なる詳細な項目

①の基本項目よりも詳しい患者さんの情報、手術入院情報、術後情報などが入力されます。術式や術中初見を含めた数十項目の登録となります。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部 心臓血管外科学講座 三石 淳之

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL：088-880-2375

FAX：088-880-2376

E-mail：im32@kochi-u.ac.jp

研究責任者：

高知大学医学部心臓血管外科学講座 三石 淳之